

「野田産研研究助成」

食と健康に関する研究分野 2027年度募集要項

1. 趣旨

本研究助成は、「食と健康に関する研究分野」に携わる有為の研究者に対して研究助成を行うことによって、発酵化学を基盤とする産業の発展と健康で持続可能な社会の構築に寄与することを目的とします。

2. 助成対象

本研究助成は公募とします。助成対象は日本国内の大学、公的研究機関及びこれに準ずる研究機関に属する研究者の申請する研究課題とし、研究計画の推進に責任を持ち、助成金の適切な管理及び助成終了後の報告を確実に履行できる者として申請にあたっては、所属長の推薦を受けてください。また原則として同一の研究課題で他助成財団からの助成を受けていないものとします。研究課題は、新たに研究を開始するもの、または既に進行中のものを問いません。

3. 研究領域及び助成の種類と金額

(1) 研究領域

- ・発酵過程や体内での消化・代謝・腸内細菌による食品成分の化学変化を通じて生じるおいしさや健康増進作用の発現機構を、物質（化合物）レベルで解明する研究を助成します。
- ・動物を用いた試験を含む研究は対象外とさせていただきます。必要に応じて培養細胞、in vitro 実験系等を駆使して化合物の機能を評価してください。

(2) 助成の種類と金額

- ・研究助成（食と健康）：助成対象となった研究に対して、300万円を助成します。
- ・特別助成：優れた申請と認められたものについては、通常の研究助成に加え特別助成金として100万円を追加助成します。

4. 助成件数

- (1) 研究助成（食と健康）は6件程度。
- (2) 特別助成は2件を上限とします。

5. 助成期間

2027年4月から2028年3月まで（1年間）

6. 助成金の使途、応募に関する留意点

助成金は、申請された研究課題の遂行に必要な物品の購入、その他研究推進に直接必要な費用に充てるものとし、その支出は研究の目的及び計画に照らして合理的な範囲とします。なお、所属機関の間接経費（一般管理費、オーバーヘッド）は認めておりません。また助成金は助成期間内に使用して下さい。

- （1） 過去2年間に当財団の「食と健康に関する研究助成」を受けた方は、応募できません。
- （2） 原則として同一の研究課題で他の民間助成財団からの助成を受けている（または内定している）方は応募できません。
- （3） 類似の研究課題で助成を受けている（または内定している）場合は、本応募研究との相違点を明記して下さい。
- （4） 公的助成（科研費、JST等）の大型プロジェクト（間接経費を除く助成総額2,000万円を超えるもの）の助成金を受けている方（内定も含む）は研究課題が異なる場合でも応募できません。
- （5） 現在受けている（又は内定している）公的助成及び他の民間財団助成については、すべて記載して下さい。記載漏れが判明した場合には、助成対象とならないことがあります。他の民間助成財団からの助成との相違点については、必要に応じて確認させていただくことがあります。

7. 募集期間

2026年7月1日（水）9時から8月31日（月）12時まで

8. 応募方法

- （1） 申請は電子申請システム（Web申請システムによるマイページ取得、提出書類ファイルのアップロード）により行ってください。郵送による申請は受け付けません。当財団のホームページより電子申請システムにアクセスし、マイページ登録を行った上で、申請フォームに記入し、応募書類をアップロードしてください。既に登録済みの方は、登録内容をご確認下さい。
- （2） 記載要領に従っていない申請書は事務局より再提出をお願いすることがあります。
- （3） 締切直前はWeb申請システムの回線が混雑し、送信できない可能性がありますので、余裕をもってご応募ください。

9. 選考方法と採択通知

- (1) 各分野の学識経験者による当財団選考委員会において厳正に審査し助成候補者を選定して、2027年3月の理事会にて決定します。
- (2) 採択予定者には1月末までにメールにて連絡します。さらに採用決定者には3月末までに通知します。

10. 助成金の支給

助成金は原則として助成金受給者の所属する研究機関の委任会計窓口を経由することとし、2027年4月中旬に手続きを開始し、6月に支給します。

11. 研究成果の報告

- (1) 助成金受給者は、2028年7月頃に電子申請システムより当財団所定の書式を入手し、2028年9月末までに、当該書式に従い研究成果概要（和文及び英文、図表を含め、それぞれA4版3枚以内）と助成金使途報告書を作成の上、当財団へ提出してください。
- (2) 提出いただいた研究成果概要は情報公開の対象とし、当財団のホームページに掲載します。ただし、掲載の時期についてはご要望に応じて配慮します。
- (3) 2029年5月頃に東京都内で開催予定の当財団主催の研究成果報告会（当財団役員、委員等が出席）に参加し、研究成果をご報告いただきます。旅費は当財団の規則に基づき支給します。なお、本報告会においては和文の研究成果概要を配布します。
- (4) 研究成果を原著論文、総説、技術報告等として外部に公表する場合には、当財団の研究助成を受けた旨を明記するとともに、別刷又はPDF等を1部当財団事務局へ提出してください。謝辞の記載例は次のとおりです。「This work was supported by Noda Institute for Scientific Research Grant」

12. その他

応募に際しては、ホームページの「よくあるご質問」を確認して下さい。

送付先及びお問合せ先：

公益財団法人 野田産業科学研究所 研究助成事務局

〒278-0037 千葉県野田市野田 338 キッコーマン中央研究所内

Tel：04-7123-5975；Fax：04-7123-5953

E-mail：grant01@nistr.or.jp

以上